

日本人の忘れもの

7月25日(月)
京都新聞文化ホール
「忘」=筆 森清範 清水寺貞主
主催=京都新聞
企画協力=株式会社日商社

日本人が近代化の中で忘れてきたものを探る「日本人の忘れもの 知恵会議」(主催=京都新聞)が7月25日、京都新聞文化ホールで開かれた。文化、経済、学術、宗教などさまざまな分野の文化人、経済人約30人が、現代の日本が忘れてきたもの、「地方創生」に向けて京都から発信するべきことについて議論した。コーディネーターは京都新聞総合研究所長の内田孝が務めた。



●基調提言①
木下博夫氏 (国立京都国際会館館長)

公民連携が必要不可欠

都市は、一般には人、物、情報が集積することにより生き物のように躍動感あふれるダイナミクスを備えています。このような都市を多面的に考察するための視点として私は「六つのS」で始まるキーワードを置いていきます。一つ目はスケールで、京都の中でも限られた中心地域なのか、他府県まで及ぶ広圏都市圏まで想定するかなど地理的な概念です。スペインは長・短期等の時間軸、ストックとスピードは歴史風土と生活空間における時間の移り変わり、スピリッツは物事に対する考え方や信念、センチティブは人間が持つ五感に基づく感覚です。

私はこの六つのSを踏まえ、京都文化の根底に流れる京都スタイルとは何かを思いを巡らしてみたいと考えております。都が1200年以上も置かれ続け、商業文化においても、生活文化においても一定の格調高さがあり、京都ならではの規範、意識なども同時に育まれてきました。

このような京都スタイルを維持・発展させるために欠かせないのは公民連携です。豊かな生活文化を背景にした民間と、府や市などの行政組織レベルが密接な協力体制を確立していくことが不可欠です。文化庁の京都移転が決定したのを機に、国レベルとの協調的活動も強化し、全国各地の地方都市に一つの地域再生モデルを提案することも視野に入りたいものです。

広義の関西地区は、滋賀県から兵庫県までで構成され、大阪市や神戸市などの個性的な都市同士で結束関係を強くすれば、関西圏全体として全国、世界への情報発信力がさらに高まります。日本はすでに人口減少社会に突入しており、都市間で共同して地域活性化策を考えていかないと地方創生活動の実効性も上がりません。

- 井上満郎氏
京都文化を一言でいうと混合でしょう。守るべき一線を維持しながらもさまざまな異文化を受け入れてきた歴史があります。異質なものを排除しない京都文化の本質までさかのぼって考えることも大事です。(京都市歴史資料館 館長)
- 上村多恵子氏
長い歴史の中で培われた伝統文化と革新的なアイデア文化との融合が大切です。新しい考えから伝統も変化し長く伝承されていくので、新規の文化創生エネルギーを応援して丁寧に育てたいものです。(京南倉庫株式会社 代表取締役)
- 宇津崎光代氏
半兵衛麩の先代玉置半兵衛氏の著書「あんなあまおききや」には伝統的なしつけが綴られています。歴史と伝統に裏打ちされたしつけや教えが広く広がってほしいものです。(ミスリビング 会長)
- 丘 真奈美氏
京都の人がよく話す「はんなり」を色に例えたとどんなイメージになるかを調査しましたか結論は出ませんでした。つかみどころのない奥の深さも京都文化の一面です。(歴史作家・合同会社京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表)
- 加茂順成氏
環境省選定の「かおり風景100選」の一つに両本願寺間に位置する仏具店街におけるお香の匂いがあります。伝統文化を構成するものの中には五感で感じる要素も潜んでいると考えます。(浄土真宗本願寺派 総合研究所研究員)
- 河田邦博氏
鉄道などの資産も京都文化の構成要素の一つとして捉え鉄道ファンだけでなく多くの方にその魅力を広げていきたいと考えています。(西日本旅客鉄道株式会社 京都交流推進委員会事務局長)
- 小西池 透氏
生活者の視点がとても大切だと実感します。生活の中から学んでいけるような新しい教育制度などを考えていくべきでしょう。(大阪ガス株式会社 理事・京滋地区総支配人)
- 齋藤 茂氏
現在語られている文化的ステータスは伝統文化に偏っています。スマートフォン向けゲームなどが経済に与える影響が大きくなってきている一方で例えば日本のアニメ・映画・ゲームなどポップカルチャーへの評価は低過ぎると感じています。(株式会社トーセ 代表取締役会長)
- 佐竹力総氏
京都の食と花街は「京都をつなぐ無形文化遺産」の一つとして京都市が選定していますが和食文化を体現する料亭を管轄する法律はいまだに「風俗営業法」であり、多くの制約を受けています。文化行政施策として発展させるうえでも改善を望みます。(美濃吉 代表取締役社長)
- 下出祐太郎氏
平和な世界の実現には文化を相互に認め合うことが必要です。日本を代表する京都が産み出した近代産業は伝統産業が下地となっているケースが多々あります。異文化理解のためにも、日本のオリジナリティーのためにももっと京都文化を掘り下げて考えることが重要でしょう。(京都産業大学文化学部教授)
- 杉浦京子氏
子ども時代から特別なこととしてではなく、日常生活の中にお花やお茶などの作法がすり込まれているのは京都文化の伝統です。会議でもペットボトルではなく、心を込めて注がれたお茶があると京都の日常文化に関する異なる見地での意見が出るのではないのでしょうか。(一力亭 女将)

提言

生活文化ルネサンスへの文化都市としての地方創生策



●基調提言②
玉置万美氏 (半兵衛麩 代表取締役社長)

町衆文化の復活を

私も半兵衛麩は1689(元禄2年)に創業、「先義後利・不易流行」を家訓として守り続けてまいりました。前者は高い人としての心構えを、後者は、受け継がれてきた家の伝統は守りながらも、時代に合わせて新しいものを取り入れていくことを教えています。

中国から麩が伝わったのは当社創業以前の、今から約400年前です。創業者の玉置半兵衛が宮中で麩のつくり方を覚え、京の町で商いを始めました。和食は素材、器など全ての要素のつながりが大切です。どれかが欠けてもバランスが崩れますから、麩の一つの出来栄も大切だと思い、心を込めてつくっております。現在は世界遺産にも登録された和食文化の充実に、ささやかながらも貢献していると自負しております。

私は商家で育つ中で、知らないうちに商売上のやりとりや、しつけなどの生活習慣を身に付けました。生活に根差した京都文化をしっかりと伝えていく場が実生活の中で機能していたのです。現代はグローバル時代になって変化の流れが速くなり、伝えるべき伝統文化や心がそぎ落とされているような危機意識を持っております。

例えば私が幼いころには、出入りの職人さんのために、仕事の合間にお茶や、ちょっとしたお菓子などを出して休憩を取ってもらうことは常識とも言えましたが、いまの若い世代には、こうしたお付き合いや生活の知恵は、体験者がきちんと教えないと伝わりません。

一方、伝統を守るだけでは地域の発展は望めず、現代では新しいものを絶えず加えていかないと快適な生活もできなくなっているのも事実です。京都文化の伝承として何を変化させ、何を残していくべきなのか。「源氏物語」が記述されてから千年を記念して制定された「古典の日」に倣い、「着物の日」なども肩肘張らずに実施してみるのもいいかもしれません。かつての町衆文化力を復活させるためにも、京都文化とは何かをみんなで語り合う場が町の中にたくさんあるといいと考えています。



●コーディネーター
内田 孝 京都新聞総合研究所長

- 伊東久重 有職人形所 所属・肩書きは7月25日時点のものです
- 井上満郎 京都市歴史資料館館長
- 岩間 研 東京海上日動火災保険株式会社 京都支店次長
- 上村多恵子 京南倉庫株式会社 代表取締役
- 宇津崎光代 株式会社ミスリビング 会長
- 園城三花 ソフトバンク 都生連六世家元
- 大津光章 都生連六世家元
- 丘 真奈美 歴史作家・合同会社京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表
- 加茂順成 浄土真宗本願寺派総合研究所研究員
- 川底英之 キリンビールマーケティング株式会社 京滋支社業務担当部長
- 河田邦博 西日本旅客鉄道株式会社 京都交流推進委員会事務局長
- 河原林春陽 国際屋A17作家
- 木下博夫 国立京都国際会館館長
- 衣川 勉 京都市中央信用金庫 総務部長
- 小池知弘 アサヒビール株式会社 京滋支社副支社長
- 尾玉菊雄 サッポロビール株式会社 京滋支社支店支社長
- 小西池 透 大阪ガス株式会社 理事・京滋地区総支配人
- 齋藤 茂 株式会社トーセ 代表取締役会長
- 佐竹力総 美濃吉 代表取締役社長
- 下出祐太郎 京都産業大学 文化学部教授
- 杉浦京子 一力亭 女将
- 田中喜直 月桂冠株式会社 企画宣伝課長
- 田中祐規 月桂冠株式会社 企画宣伝課
- 玉置万美 半兵衛麩 代表取締役社長
- 林 雅彦 西日本電信電話株式会社 京都支店企画総務部長
- 福井健介 月桂冠株式会社 企画宣伝課主任
- 松田大祐 西日本旅客鉄道株式会社 京都交流推進委員会
- 村山 明 木工家
- 山口富蔵 御菓子司「末富」当主

- 私たちは「日本人の忘れもの 知恵会議」に参画しています。
- アサヒビール株式会社 京滋統括支社
- 石清水八幡宮
- 裏千家 今日庵
- N T T西日本 京都支店
- 大阪ガス株式会社
- オムロン株式会社
- 株式会社 オンリー
- 柿本商事株式会社
- 京セラ株式会社
- 株式会社 京都銀行
- 京都産業大学
- 京都中央信用金庫
- 株式会社 京都東急ホテル
- 株式会社 京都西川
- 株式会社 京都ホテル
- 清水寺
- キリンビールマーケティング株式会社 京滋支社
- 株式会社 きんでん 京都支店
- 月桂冠株式会社
- 佐川印刷株式会社
- サッポロビール株式会社 京滋支社
- サントリー酒類株式会社 京都支店
- ジーク株式会社
- 浄土真宗本願寺派 本山本願寺(西本願寺)
- 株式会社 進々堂
- 成基コミュニティグループ
- 学校法人 大和学園
- タキイ種苗株式会社
- 武田病院グループ
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 同志社大学
- 株式会社 トーセ
- 西日本旅客鉄道株式会社
- ニチコン株式会社
- 公益財団法人 日本漢字能力検定協会
- 日本写真印刷株式会社
- 日本たばこ産業株式会社
- 株式会社 日立製作所 京都支店
- 株式会社 福寿園
- 株式会社 フクナガ
- 富士ゼロックス 京都株式会社
- 佛教大学
- 京懐石 美濃吉
- 彌榮自動車株式会社
- 学校法人 立命館
- ローム株式会社
- 株式会社 ワコール
- ワタキューセイモア株式会社